

## F M V Aと中畜が農場H A C C P推進で、シンポジウム開催

(第三種郵便物認可) 第8086号



農場管理獣医師協会（F M V A＝北村直人会長）と（社）中央畜産会は、埼玉県等の後援で「[Farm To Table] 農場の安全を食卓に」（農場H A C C P推進に向けて）と題して、消費者と農場を結ぶ安全の絆シンポジウムを13日、埼玉県本庄市内の早稲田大学本庄キャンパス内で開催した。北村会長は「畜産物の再生產を安全・安心・おいしくし、安心して暮らせる世の中を創るということは、大切な命を燃やすこと。このためにも獣医師が安心を担保して、最終的に安全な畜産物を消費者に届けるということへの理解を得る取組みが当協会の願い」とあいさつ。来賓ではパネラーでもある農水省動物衛生課の山野淳一課長補佐や、埼玉県農林部など後援3団体があいさつ。

シンポジウム（写真）では北村会長を座長に、全国消費者団体連絡会の神田敏子事務局長（消費者の視点）、厚労省監視安全課の加地祥文課長（生産段階と公衆衛生分野との連携）、山野課長補佐（現場におけるH A C C P取組み）、（株）アスコ営業本部の山本卓司マネージャー（日本の食中毒の現状）、（株）ミートコンパニオンの植村光一郎常務執行役員（流通担当者として）、酪農家の関口博孝さん（農場で目指すもの）の6人のパネラーが、それぞれの立場で意見を表明。いずれも消費者に安心を届けるためには、生産段階と公衆衛生分野との連携によりH A C C Pを畜産生産農場段階に導入し、食中毒から回避させ、流通担当者もH A C C Pによる安全の確保と個体識別などを合わせた魅力的食肉を供給していくことが必要だと指摘。生産者は生産現場のH A C C P対応で消費者に頼の見える関係構築やF M V A認証や、埼玉県認証などの裏づけとなる農場つくりに取組み、牛と地域社会と環境の調和を目指したいとの考えを明確に示した。

### 【人事異動】ダイエー、3月1日付、食品商品本部長に乾氏

ダイエーは3月1日付で組織変更および人事異動を次のとおり決定した。

- ①効率改善を目的に「人事・人材開発部」と「総務・法務本部」及び「不動産事業本部」の「営繕部」の各機能を再編、「総務人事本部」を設置する
- ②経営インフラの集中管理、効率的運用を目的に「システム物流本部」に「不動産事業本部」の「営繕部」の資材・備品管理機能を移管、「経営システム本部」に呼称変更する
- ③組織の統合により効率改善を図るとともに、一部機能を各営業本部へ移管し、営業本部の営業企画機能強化を図る。これに伴い「営業戦略本部」の機能を「営業グループ」直轄組織として再編し、「営業戦略本部」は解消する。なお、人事異動のうち本紙関係は次のとおり。▽常務執行役員関東営業本部長（常務執行役員食品商品本部長）森常之▽食品商品本部長（食品商品本部近畿商品部長）乾哲也。